

きたかた

よろこび多いまちづくり



vol. 52
令和元年8月1日号

社

十力

だ

よ

41

主な内容

- ▶会長就任挨拶、役員改選 2
- ▶平成30年度決算報告 3
- ▶平成30年度事業報告 4～5
- ▶ふれあいだより 6～7
- ▶ぼらせん通信 8
- ▶児童館まつり・生活サポートセンターほか 9
- ▶よらんしょネット 10
- ▶寄付報告 11
- ▶リフレッシュ事業・社協まつりのお知らせ 12



喜多方市社会福祉協議会公式

facebook®



山都町赤十字奉仕団では、毎年、ボランティア活動の一環としてしゃくなげホームに花植えを行っています。今年はマリーゴールドやサルビアを植えていただきました。しゃくなげホームに来られる利用者さんも職員も、花を見て和んでいます。



就任あいさつ



喜多方市社会福祉協議会

会長 齋藤 勇

このたび、令和元年6月18日に開催されました理事会において、本協議会会長に選任されました。

長年、喜多方市社会福祉協議会を牽引されてこられた武藤顯夫前会長からのバトンタッチでもあり、会長という職務の重責さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

ところで昨今の、社会福祉を取り巻く環境は少子高齢化が進行するなか一人暮らし高齢者の増加、社会的な孤立の問題や経済困窮世帯への対応等、公的なサービスだけでは解決できない諸問題が増え福祉に対するニーズは複雑多様化しています。

そのような状況下のなか、本協議会では従来の地域福祉事業や介護事業に加え、市委託事業としての地域包括ケアシステムの推進や、生活困窮者自立

支援法に基づく生活サポートセンターの運営、更には高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センターの拡充など、地域の皆様が抱える福祉課題の解決に向けた取り組みを推進しております。今後はより一層、市民の皆様の負託に応えられるよう事業運営に努め、本協議会の理念でもあります「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向け、地域福祉を推進する中核的な民間福祉団体として、役職員一丸となって、その使命を十分に発揮できるよう、微力ではありますが、精一杯の努力を重ねて参る所存であります。最後に今後とも、市民の皆様のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任にあたってのあいさついたします。

社会福祉法人喜多方市社会福祉協議会 役員改選

理事・監事の選任については、市内の有識者により構成された候補者推薦委員会で選考を頂き、評議員会での議決により選任されました。

理事・監事は、本会の執行機関として法人運営を担います。

◎会長

齋藤 勇

◎副会長兼常務理事

遠山 権司

◎理事

五十嵐 智

今井 輝雄

岩本 義昭

上野 利一郎

風間 常義

佐原 和佳子

古木 俊一

山崎 信子

渡部 孝一

◎監事

立川 裕一

眞部 久男

(五十音順・敬称略)

任期

令和元年6月18日～令和3年6月開催の定時評議員会終結時



平成30年度決算報告

(平成31年3月31日現在)

貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	213,062,506	流動負債	114,241,592
現金預金	121,855,125	未払金	80,465,464
未収金	87,983,271	1年以内返済予定リース債務	3,136,752
立替金	714,927	預り金	540,309
前払金	18,550	職員預り金	4,426,168
短期貸付金	2,490,633	賞与引当金 ※	25,672,899
固定資産	661,192,419	固定負債	416,896,158
基本財産	5,000,000	リース債務	8,023,320
投資有価証券	5,000,000	退職給与引当金	408,872,838
その他の固定資産	656,192,419	負債の部合計	531,137,750
建物	5,155,738	純資産の部	
構築物	228,794	基本金	5,000,000
機械及び装置	658,750	基本金	5,000,000
車両運搬具	11,045,037	基 金	90,119,200
器具及び備品	4,055,480	社会福祉基金	64,009,200
有形リース資産	10,737,792	生活困窮者対策事業基金	26,110,000
退職給付引当資産	354,100,938	国庫補助金等特別積立金	6,367,285
特定預金	270,049,200	積立金	179,930,000
その他の固定資産	160,690	次期繰越活動収支差額	61,700,690
		(うち当期活動収支差額) ※	-11,253,067
		純資産の部合計	343,117,175
資産の部合計	874,254,925	負債及び純資産の部合計	874,254,925

平成30年度事業活動収支計算書

(単位:円)

	収 益	費 用	差 異
サービス活動増減の部	755,507,642	770,277,796	-14,770,154
サービス活動外増減の部	3,187,089	0	3,187,089
特別増減の部	329,999	1	329,998
合 計	759,024,730	770,277,797	-11,253,067

(当期活動収支差額)

＜サービス活動増減の部 内訳＞

(単位:円)

収 益		費 用	
会費収益	3,018,000	法人運営事業	147,846,730
寄付金収益	13,479,520	地域福祉事業	35,749,014
補助金収益	75,330,837	・ ボランティア教育 ・ 福祉団体育成支援 ・ サロン事業の推進 ・ 社会福祉大会開催 ほか	
受託金収益	292,997,692	指定管理施設運営事業	96,792,947
事業収益	14,224,638	・ 総合福祉センター ・ 夢の森 ・ いきいきセンター ・ 高齢者生産活動センター ・ しゃくなげホーム ・ かたくり荘	
負担金収益	814,100		
介護保険事業収益	331,658,015	児童館運営受託事業	101,319,371
障がい福祉サービス事業等収益	8,867,268	介護事業	387,827,855
その他の収益	15,117,572	・ ケアプランセンター4事業所 ・ ヘルパーセンター2事業所 ・ デイサービスセンター5事業所 ・ 訪問入浴1事業所 ・ 地域包括支援センター	
合 計	755,507,642	障がい福祉事業	
		・ ヘルパーセンター2事業所 ・ デイサービスセンター1事業所 ・ 訪問入浴1事業所	741,879
		合 計	770,277,796

平成30年度社会福祉法人喜多方市社会福祉協議会主な事業報告

◎福祉団体の育成支援

市民が主体となって活動する市内11福祉団体の事務局を担い、育成・支援を行いました。

◎児童・生徒のボランティア活動普及事業

心豊かな児童・生徒を育成するため、市内の全24小・中学校をボランティア協力校として指定し、特色ある福祉教育の推進を支援しました。



喜多方三中生から一人暮らし高齢者の方への年賀状

◎サマーショートボランティアスクール

「福祉の心」を育むため、夏休み期間を利用して小・中・高校生を対象にボランティア体験の場を提供しました。

◆参加者数 39名



高齢者疑似体験

◎傾聴ボランティア事業

高齢者等の孤独感や不安感の軽減と精神的な健康維持の支援を図るため、養成講座を開催するとともに、市内の12福祉施設でのボランティア活動に係るコーディネートを行いました。

◆新規登録者 10名
◆傾聴活動実績(延べ) 191回

◎除雪ボランティア事業

高齢者等の身体的負担の軽減を図るとともに、中高生と地域住民との交流により地域での支え合いと福祉の向上を目的として実施しました。

◆実施世帯数 16件
◆参加者数 125名

◎おもちゃ図書館事業

子ども達がおもちゃや絵本を通して、人間性豊かに成長することを支援するとともに、保護者同士の交流の場を提供しました。

◆開館日数 164回
◆年間利用人数(延べ) 4,657名
また、市総合福祉センターにキッズスペースを新たに設置しました。



いちご狩り



餅つき



キッズスペース

◎福祉と介護の出張講座

市内小中高校での福祉教育に関する授業や、機関・団体等が主催する各種集会等に職員を派遣し、福祉への理解と増進に努めました。

◆派遣回数 7回
◆参加者数(延べ) 403名
また、介護職員初任者養成研修として耶麻農業高校へ9回の講師派遣を行いました。



高齢者疑似体験(喜多方高校)

◎第14回喜多方市社会福祉大会

広く市民の方々が一堂に会し「ふれあいと喜び多いまちづくり」を推進していくことを誓うとともに、社会福祉に功績のあった個人、団体の表彰や感謝状の贈呈、また小中学生による福祉作文優秀作品の発表も行いました。

◆記念講演
「伝えることの大切さ、伝えることのすばらしさ」
◆講師 大和田 新氏
(フリーアナウンサー)
◆参加者数 380名

◎ふれあい社会福祉講座

福祉を正しく見る目と豊かな想像力を養い、社会福祉の推進に資することを目的として3講にわたり開催しました。

◆聴講者数(延べ) 309名

◎介護職員養成・定着化事業(介護パワーアップ事業)

1) 介護職員初任者研修

本市の介護職員不足の解消を図るため、介護人材の育成を目的として実施しました。

◆受講者数 15名

2) キャリアアップ研修支援事業

市内の施設に勤務している介護職員の初任者研修受講・実務者研修受講及び介護福祉士の資格取得を促進し、従業者の安定的雇用につなげるため研修費用を助成しました。

◆実務者研修受講者数 6名

◆初任者研修受講者数 4名

3) 介護職員就労定着奨励金事業

介護職として市内の同一事業所に1年以上の就業者に対し奨励金を支給しました。

◆奨励金支給者
市内在住者 33名
市外在住者 6名

◎ふれあいきたかた社協まつり

市民の方へ参加型イベントを通して「社協」を身近に感じ、社協や共同募金等の福祉活動を一層理解していただく機会として、市総合福祉センターを会場に開催しました。

◆来場者数 335名



◎「ふれあいいきいきサロン」への活動支援

高齢者同士がともに助け合い・支え合いながら、健康で生きがいある交流の場とすることを目的に「ふれあいいきいきサロン」の開設と運営を支援しました。

◆サロン数 34ヶ所



栄町サロン「ふわらふわらゲーム」

◎地域包括支援センター事業

高齢者の総合相談窓口として、また、介護予防や権利擁護事業等を実施しました。

◆相談対応件数 13,883件
◆介護予防等事業 49回
◆地域ケア会議 29回

◎生活サポートセンター事業

就業や生活上の不安や心配を抱え経済的に困窮している方の自立に向けた支援や就労、家計改善に関するための支援を行いました。

◆自立支援プラン策定件数 45件
◆就労決定件数 11件
◆家計再生プラン件数 4件

◎フードバンク事業

生活にお困りの世帯に対し、フードバンクから提供を受けた食料品の提供を行いました。

また、「きたかた子ども食堂」と連携し、フードバンクを通して食料品の提供及び食堂運営への連携と協力を行いました。

◆食料品提供実績(延べ) 109回
◆子ども食堂への提供実績(延べ) 20回

◎小口生活援助資金の貸付

低所得者の緊急的な生活支援を行うため、5万円を限度とする資金の貸付を行いました。

◆貸付件数 53件(2,470,000円)

◎日本赤十字社及び 赤い羽根共同募金運動への協力

人道・博愛を目的とした日本赤十字社事業並びに民間社会福祉事業の財源となっている赤い羽根共同募金運動に協力しました。

◆日赤社資実績額 7,682,706円
◆共同募金実績額 8,263,227円
◆歳末たすけあい募金実績額 4,155,705円

◎福島県社協との協働による 地域の福祉力向上事業

ボランティア団体の活動発表を通して地域の身近なボランティア活動を知っていただく機会として、福島県社協との共催により実施しました。

◆活動発表者
福島県立喜多方東高等学校
ボランティア団体「スマイル」
パトランJAPAN



発表者の皆さん



非常食作り体験コーナー



ハイゼックス炊飯法による非常食作り

◎第2層生活支援支え合い会議の設置

地域における支え合いの仕組みを協議する場として、熊倉地区と熱塩加納地区に生活支援支え合い会議を設置しました。

◎福祉レクリエーション事業

レクリエーションボランティアを養成し、地域の高齢者サロン等でのボランティア活動をコーディネートしました。

◆ボランティア活動回数 13回



レクリエーションボランティア

◎子育て支援事業

本会が実施するおもちゃ図書館や地域での子育てをサポートするボランティアの養成・支援を行いました。

◆ボランティア活動回数 22回



福祉活動支援金御礼とご協力をお願い

福祉活動支援金は、地域の皆様のご理解により行政区ごとに取りまとめを頂き、平成30年度において6,400,450円のご協力を頂きました。本会ではこの貴重な財源をもとに、子どもから高齢者にいたる様々な福祉活動や、地域を支えるボランティアの養成・支援活動などに大切に活用させていただきました。

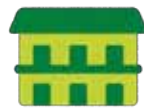
今年度におきましても、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



東四ツ谷地区世代間交流



小沼地区高齢者ミニサロン



喜多方
地区

第35回 高齢者生産活動センターまつり

前日まで降り続いた雨も当日にはあがり、そよ風が吹く中、第35回センターまつりが、6月9日(日)活動センターを会場に開催されました。

毎年楽しみにしてくださる方もおり、市内外から多くの皆様にご来場頂きました。今年は千葉県からの修学旅行生も来場し、会場は活気に溢れました。

会場には会員が丹精込めて製作した作品が展示されたほか、生産品が格安で販売され、多くの方々がその素晴らしい出来栄に関心されていました。陶芸・手芸・織物・押し花絵の各グループによる体験教室も行われ、世界に1つだけの作品ができあがりました。

また、新鮮野菜や加工品の販売の他、炊き込みご飯や焼きそば、飲み物等、フードコーナーにもぎわいました。

健康相談コーナーでは、地域包括支援センターの職員が血圧測定や健康相談に応じました。

今年のアトラクションは、レクリエーションダンス教室の皆さんによる踊りと、フォルデシモの皆さんによるオカリナ演奏が披露され、まつりに花を添えてくれました。



熱塩加納
地区

『流しそうめん』たのしいね!

おもちゃ図書館の季節イベントとして、『流しそうめん』を実施しました。

こども達は、おもちゃでいっぱい遊んでおなかをすかせてからの流しそうめんでしたので、そうめんがトイを流れるたびに大喜びで、そうめんを一生懸命お箸ですくって食べていました。

また、ミニトマトやきゅうり、ひとくちゼリーや手打ちそばも流して、歓声や笑い声があがりました。流しそうめんは、ご家庭ではなかなかできないことなので、こども達にもお母さん方にも毎年とても好評です。

当日は赤十字奉仕団の協力のもと、親子13組総勢50人のにぎやかに楽しみました。

熱塩加納地区おもちゃ図書館では今後、10月十五夜・12月クリスマス会・1月だんご刺し・3月餅つきを実施しますので、ぜひ遊びに来てください。



塩川
地区

「赤十字防災セミナー」開催

6月29日(土)塩川地区住民の方を対象に「赤十字防災セミナー」を開催しました。

日本赤十字社福島県支部職員を講師に迎え、減災チェックリストによる災害時の備えの確認、実技では新聞スリッパの作成、三角巾や身近なものをを使った応急手当の方法、災害時だけでなく日常でも役立つロープワークの技術を参加者同士楽しく教えあいながらマスターしました。

災害時は、自分の身は自分で守る「自助」、身近な地域で助けあう「共助」が被害を少なくするための大きな力になります。日ごろからの備え、気づき、考え、実行することの大切さを実感したセミナーでした。





ふれあい

山都地区

いきいきサロンで交通安全学習会

山都地区の各いきいきサロンでは喜多方警察署員の方にお越しいただき、交通安全学習会を開催しました。

小布施原いきいきサロン・寺内いきいきサロンでは道路横断の仕方について、木曽いきいきサロンでは自転車を運転する際に注意することについて、シミュレーターを使って学びました。

また、ふなひきいきいきサロンでは運転免許証の自主返納を含めた講話を聴き、車を運転する時も歩行の時も十分な注意が必要であることを改めて学習しました。



寺内サロン



木曽サロン



ふなひきサロン

高郷地区

おたのしみ昼食会『あじさい会』開催

ひとり暮らし高齢者等の生きがい支援事業として、おたのしみ昼食会を毎年実施しています。

今年度は、高郷駐在所の佐藤巡査部長さんより、益々巧妙になっている振り込め詐欺等についてDVDを使いながら講話をいただき、皆さん熱心に聞き入っていました。

また、毎年楽しみにしている、はとぼっぼによるアトラクションでは、懐メロを聴いたり、一緒に歌ったり、踊りの披露は拍手喝采で、アンコールが出る程の盛況ぶりでした。

最後は、高郷町赤十字奉仕団手作りの昼食をいただき、楽しいひとときを過ごすことができました。



ジャパンゴルフツアー選手会からの車両寄贈

2台目!

男子プロゴルフツアーのジャパンゴルフツアー選手会では、震災の復興支援として獲得賞金額の1%のチャリティを実施しており、それを原資に自動車を購入して岩手、宮城、福島各県の社会福祉協議会を通じて、市町村社会福祉協議会に寄贈する活動を2012年度から継続して行っています。

この度、本会に2台目となる寄贈が決定し、6月14日に贈呈式が行われ、選手会長の石川 遼プロから福祉車両の寄贈がありました。

この車両は、本市におけるさまざまな地域福祉活動に活用してまいります。



ーばらせん通信ー

福祉と介護の出張講座に行ってきました！

6月27日(木)、喜多方市立第三中学校で「高齢者疑似体験」を実施しました。

当日、第三学年の生徒68名が参加し、高齢者の特徴についての説明の後、実際に疑似体験セットを着用し、高齢者の気持ちになっていただきました。

体験した生徒からは、「不便なので誰かの助けが欲しい」や、一方で「サポートしてもらおうのも申し訳ない気持ちがあった」など、気づきがあったようでした。

この体験が、皆さんの一歩踏み出した思いやりに繋がりますように。



児童・生徒の福祉活動紹介しています♪



皆さんご存じでしょうか？

喜多方市総合福祉センターには、市内の小・中学校や高校の福祉活動への取り組みがパネルにより紹介されています。

各校で様々な取り組みがなされ、子どもたちのパワーをご覧ください。たくさん事ができます。

是非、各学校の取り組みをご覧ください。

※本会では、市内全ての小・中学校を「児童・生徒のボランティア活動普及校」として指定し、福祉活動の推進を図っております。

「傾聴ボランティア養成講座」受講者募集！！

傾聴ボランティアとは「お話しボランティア」です。

現在、喜多方市内では約30名のボランティアさんが福祉施設等で活動しています。

本講座は、傾聴に関する知識や技術を習得し、地域で傾聴活動を行うボランティアを養成することを目的に開催します。

ご興味のある方は、お気軽にお申込み下さい。

- 日程・講師**
- 第1講 令和元年9月 4日(水) 午前10時
 - 第2講 令和元年9月11日(水) 午前10時
 - 第3講 令和元年9月18日(水) 午前10時
 - 講 師 会津大学短期大学部准教授 木村淳也 氏
- ※各講とも1時間30分程度の講座です

会 場 喜多方市総合福祉センター 2階 会議室

対 象 者 傾聴ボランティアに興味のある方で、原則として3講全て受講できる方。

そ の 他 参加費無料、全3講受講された方に修了証を交付します。

申し込み 電話にて下記までお申し込み下さい。



喜多方市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL0241-23-3231

「児童館まつり」の ご案内

日時

令和元年9月22日(日)午前10:00～

場所

喜多方プラザ文化センター

内容

遊びのコーナー(無料)

迷路、ジャンボジエンガ、
ストラックアウトなど

模擬店コーナー(有料)

焼きそば、くじ、フランクフルト、かき氷など

ほかにも子どもたちによる
「一輪車ショー」など、
内容盛りだくさんで
お待ちしております。



お問い合わせ先 喜多方市中央児童館 22-1766

～夏休み特別企画～

流しそうめん

今年もおもちゃ図書館で流しそうめんを開催します！
流しそうめんを食べて暑い夏を楽しく乗り切りましょ
う☆

事前申し込み不要、参加費無料です。

ぜひお気軽にお越しください。

会場を涼しくして、お待ちしております♪

喜多方地区

日時

令和元年8月6日(火)

午前 9:30～ミニ映画会 11:00～流しそうめん

場所

喜多方市総合福祉センター



塩川地区

日時

令和元年8月30日(金)

午前10:00～おもちゃ図書館 10:30～流しそうめん

場所

塩川町保健福祉センター

生活サポートセンターからのお知らせ

「喜多方市生活サポートセンター」では、経済的な問題や就労に関する悩みなど、様々な不安や課題を抱えた方の相談をお受けしています。ご相談は無料です。

生活が苦しい
税金・光熱費が支払えない
滞納がある

引きこもりの
家族が心配

これからどうやって生活し
たら良いのか、どこに相談
したら良いのかわからない



仕事が見つからない
続かない、
長く失業している

借金が返済
できない

子どもの学校の
学用品や給食費が
払えない

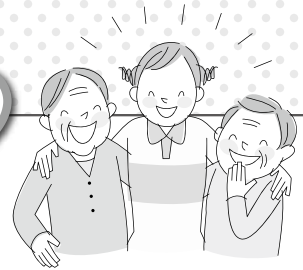
仕事や生活のこと等に困っておられる方、まずはご相談ください。

お困りの状況や生活を一緒に考え、整理していく
相談窓口です。また、状況に応じハローワークや
他関係機関への同行支援も行います。

ご相談は…

☎0241-23-3231まで

“よらんしょネット”



元気を応援!!

あなたの街の 「喜多方市地域包括支援センター」

お気軽にご相談ください。

TEL.0241-21-8856

地域包括支援センターは、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう総合的に支えていくための相談窓口です。

市役所、介護サービス事業所、病院、警察署など関係機関と連携して困りごとの解決に努め、地域の高齢者や家族を支えます。

安全運転を続けるために

高齢になると、視野が狭くなったり、判断や反応が遅れたりするなど、若いころにくらべて機敏な行動をとれないことが、事故原因の一つとして考えられています。

《安全運転のポイント》

①安全運転を継続するための話し合いをしましょう。

まずは、なぜ車の運転が必要なのかを理解しましょう。そのうえで、家族も車に同乗するなどして日ごろどのような運転をしているかを確認しましょう。運転の継続のためには、「危ない」「こんな癖がある」と客観的な意見を素直に受け入れ、改善する柔軟さが必要です。今後の運転の仕方について十分に話し合いましょう。

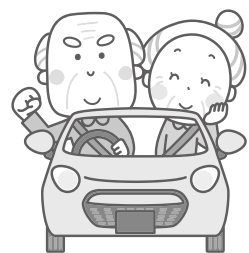


②視覚機能の低下を自覚し、慎重に運転しましょう。

加齢とともに視力の低下や視野が狭くなり、さらに眼球を動かす筋肉も衰え、動体視力が低下します。運転中に標識や歩行者、車両の動きを的確にとらえることが難しくなり、事故を起こす危険性が高くなります。

③確実に安全確認を行うために、一時停止と声だしの習慣をつけましょう。

運転経験が豊富になると、一時停止する場所や見通しの悪い交差点で「何も通らないから大丈夫」と勝手に思い込み、一時停止しなかったり安全確認を怠ったりして事故を起こす危険性があります。一時停止の標識がある場所では必ず止まり、「右よし！左よし！」と声をだして安全確認を行う習慣をつけましょう。声をだすことによって、危険の見逃しを防ぐことにつながります。



④高齢運転者標識（シルバーマーク）を付けましょう。

シルバーマークは70歳以上のドライバーが運転していることを意味します。このマークをつけた車に対する幅寄せ・割り込みなどの危険な行為は交通違反となります。



⑤体調がすぐれないときや通院時は控えましょう。

「体調がよくないけど大丈夫」と無理に運転すると、途中で体調が悪化して事故を起こす危険性があります。体調が優れないときや通院時は車の運転を控え、タクシーなど別の交通手段で移動しましょう。

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいた寄付金は、地域福祉向上のため大切に役立たせていただきます。
 (平成31年4月1日〜令和元年6月30日受付分) (順不同・敬称略)

一般寄付

〈喜多方地区〉

・きたかた子育て

サポートセンター

・子育て支援事業として

・第35回センターまつり

実行委員会

・武藤顯夫

〈山都地区〉

・(公財)修養園

物品による寄付

〈山都地区〉

・大塚幸人

・矢部憲一

ご遺志による寄付

喜多方地区

慶徳町豊岡 手代木 博
 豊川町太郎丸 佐藤 康晴
 熊倉町金沢 遠藤 武志
 岩月町稲村 松下 智明
 松山町清水台 渡部 清信
 塗物町 小椋 俊夫
 会津坂下町 田代 智
 菅原町 二瓶 次男
 関柴町上高瀬 加藤 祐一
 熊倉町熊倉下 鶴名山克男
 慶徳町新町 佐藤由美子
 東四ツ谷 藤本 容子
 東四ツ谷 高橋 常章
 上三宮町下三宮 猪俣 喜一

上三宮町見頃 渡部 時夫
 北町 星 宏一
 上三宮町三宮区 松崎 良夫
 関柴町上高瀬 遠藤 秀雄
 岩月町平沢 若菜 彰
 豊川町太田 苗村 悦雄
 熊倉町熊倉上 磯部 一幸
 松山町松原区 佐久山義一
 松山町坂井 佐藤勝比古
 岩月町宮中 皆川 光博
 関柴町関柴 山田 光市
 慶徳町豊岡 瓜生 一也
 関柴町関柴 山田 浩
 松山町清水台 小林 俊広
 松山町高畑 庄司 利一
 花園町 荻原 益吉
 松山町飯田 上野 和行
 東ひばりが丘 荒明 茂樹
 熊倉町川前 武藤 正史
 関柴町下柴 小林 信也
 上三宮町三宮区 瓜生 博
 関柴町中里 安部 巖
 菅原町 星 實
 塗物町 大竹 和彦
 桜町 遠藤 一夫
 松山町坂井 渡部 英記
 上三宮町見頃 坂内 正博
 豊川町長尾 石井 豊
 関柴町小松 佐藤 真一
 熊倉町熊倉下 羽曾部 茂
 岩月町平沢 蓮沼 清義

関柴町京出 菊地 好高
 上三宮町三宮区 渡部 正幸
 花園町 小荒井 毅
 松山町三宮区 遠藤 昇
 北町 東海林和宏
 熊倉町熊倉上 磯部 邦宏
 塗物町 鈴木 弘道
 岩月町治里 若菜 俊敦
 慶徳町新宮 田部 洋美
 松山町中村 芥川 知巳
 新町 井草 尚子
 上町西区 後藤 恒悦
 熱塩加納地区
 宇津野 遠藤 和男
 針生 石井 君子
 野辺沢 荒井 枝里
 板の沢 外島 英明
 鷺田 佐藤 吉次
 金屋 遠藤 修
 塩川地区
 新井田谷地 新明 眞二
 大木 梅宮 正司
 下窪 鈴木 哲哉
 上遠田 生井 浩二
 金川 武藤 貞義
 2区 菅谷 英彦
 御殿場 大竹 哲
 10区 鈴木 伸一
 田中 玉木 康則
 11区 小林 英子
 小出 飯田 陽香

5区 齋藤 徹
 中屋敷 大場 美子
 上遠田 湯浅 新一
 下窪 鈴木 郁男
 貝沼 山口 光二
 貝沼 福地 孝喜
 4区 齋藤 治夫
 13区 榎本 貴通
 田原 五十嵐初雄
 12区 上田 徳恒
 山都地区
 川吉 五十嵐鉄造
 堰沢 平野 毅
 早稲谷 五十嵐康子
 館原 佐藤 明広
 宮古 唐橋 増雄
 早稲谷 鶴川 信久
 上林 折笠 雄一
 河原田 五十嵐健一
 広野 高橋 一成
 本木 安部 正道
 木曾 齋藤 浩一
 小布瀬原 大塚 哲男
 上林 桑原 淑子
 高郷地区
 揚津 物江 祐一

資源回収にご協力ありがとうございました

喜多方市社会福祉協議会では、ペットボトルキャップ(エコキャップ)を収集し「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JC V)」を通じて寄付をする運動をしています。

また、アルミ缶やプルタブは、リサイクル業者により資源となり、その益金は貸出用車椅子の購入等に充てられています。

ご協力いただいた皆様 ※順不同・敬称略

△エコキャップ△

企業・団体

・本田金属技術株喜多方工場
 ・JA会津よつばいいで地区女性部
 ・みつはし医院

・喜多方市立第一小学校
 ・SSKセールス株喜多方工場
 ・会津塩川ライオンズクラブ
 ・山都町赤十字奉仕団
 ・喜多方市立高郷小学校

個人

・原 昭子・松山芳子・安部津子
 ・小澤新一・佐藤康子・和田いつ子
 △プルタブ△

企業・団体

・JA会津よつばいいで地区女性部
 ・片桐仁志税理士事務所
 ・北斗印刷株喜多方営業所
 ・喜多方市立第一小学校
 ・佐藤康子

△エコキャップとして回収できるものは、飲料用ペットボトルのみです。軽く洗って汚れをおとしてからご提供ください。シールが貼つてあるものはシールをはがしてください。しよつゆ等のキャップや汚れたついているものは回収できませんので、ご理解とご協力をお願いいたします。

♣アルミ缶は水ですすぎ、乾かしてからお持ちいただきますようご協力お願いいたします。



JA会津よつばいいで地区女性部



在宅で介護をされているみなさん!
介護から離れて、
リフレッシュしてみませんか?

令和元年度 家族介護者リフレッシュ事業

この事業は、ご家庭で要介護者を介護されている市民の皆様を対象に、日帰りまたは一泊で介護者同士の交流や研修の場を提供し、心身のリフレッシュをしていただくことを目的として実施いたします。

プ ラ ン	①一泊リフレッシュ	②日帰りリフレッシュ
日 程	令和元年10月10日(木)～11日(金)	令和元年10月17日(木)
行 き 先	宮城県 遠刈田温泉/塩竈 ほか	北塩原村 裏磐梯
内 容	①日本赤十字福島県支部でリラックス介護ミニ研修 ②来年度の大河ドラマ決定! 古閑裕而記念館見学 ③遠刈田温泉でゆっくりと温泉三昧 参加者同士でたくさん話し合います! ④塩竈で家族へのお土産 鮮魚ショッピング	①最高の紅葉ロケーション。 Gondolaで紅葉見学! ②おしゃれなホテルランチに舌鼓 ③温泉につかって日ごろの疲れを吹き飛ばしましょう!
負 担 金	5,000円	2,000円
募集予定人員	25名	25名
申 込 期 間	令和元年8月5日(月)～9月27日(金) ※定員になり次第締め切りとなります	

現地でミニ研修や参加者相互の介護についての交流会を行います。

※上記のコースのうち、①②コースについていずれか1回のみ参加できます。

※初めての方も、今まで参加したことのある方も、是非ご参加ください。

【対 象 者】介護保険による要支援、要介護の認定を受けている市内在住の方を 在宅で常時介護している市民の方。

※申込みは先着順とし、定員になり次第、受付を締め切らせていただきますのでご了承下さい。

【参加申込み】①参加される方のお名前 ②ご住所 ③郵便番号④電話番号 ⑤担当の介護支援専門員

⑥介護を必要とされている方のお名前 ⑦要介護度 ⑧ご希望のコース

以上の内容を下記のいずれかに電話でお申込みください。

喜多方市社会福祉協議会 TEL 0241-23-3231

熱塩加納支所

TEL0241-36-3112

塩川支所

TEL0241-27-3948

山都支所

TEL0241-38-3100

高郷支所

TEL0241-44-7111

地域包括支援センター TEL0241-21-8856

○募集締め切り後、参加決定した方には詳しい内容をご通知いたします。

【そ の 他】当日は喜多方市社会福祉協議会職員が同行いたします。



第3回ふれあいきたかた社協まつり

と き 令和元年9月14日(土) 10:00～14:00

と ころ 喜多方市総合福祉センター

内 容

- 盲導犬とふれあおう!
- 防災ライフハック体験(災害時に役立つ工夫)
- キッズスペース(巨大迷路・水風船の的あてなど)
- 福祉バザー ○ポッチャ大会
- 非常食体験 ○フードコーナー

その他、
盛り沢山!!

「社協ってどんなことをしているの?」

「赤い羽根共同募金って毎年聞くけど、何に役立っているの?」など、「知ってる
ようで知らないな…」とお感じではないでしょうか?

展示コーナーやイベントをとおして、社協が行っている活動を皆様に知って
いただくことはもちろん、市内の様々な福祉団体・事業所などの活動を身近に感じ
ていただくために、今年も「ふれあいきたかた社協まつり」を開催します!!

職員一同、みなさまのお越しをお待ちしております♪



※きたかた社協だよりの作成経費は、福祉活動支援金・賛助会員会費及び共同募金配分金等を
活用させていただいております。